

備北・センター だより

発行所
 三次市十日市東三丁目 14-1
 三次市福祉保健センター1F
 一般社団法人備北地域生活支援協会
**備北障害者就業・
 生活支援センター**
 TEL. (0824)-63-1896
発行人：谷口光治



すし辰三次店外観

今回は庄原に本社があり、広島県内に十二店舗展開されております『株式会社鮮コーポレーション』すし辰三次店に伺い、伊達店長にお話を伺いました。

職場 拜見



・鮮コーポレーションの概要についてお話をください。

鮮コーポレーションの前身は庄原市に先代が西田鮮魚店として魚屋を開いたのが始まりで、一九八四年に現社長が株式会社「西田鮮魚店」を設立し、現在「すし辰」が五店舗、「すし鮮」が三店舗、「カルビ屋大福」が二店舗、それに「鄙の料亭地御前」と「西田鮮魚店新鮮市場」の十二店舗を展開しています。

尾道・松江道の開通で最近では島根方面や世羅、尾道方面からのお客様も多くお見えいただいております。そのほか古くからの常連のお客様から「回転寿司は増えてきているが寿司はやはりすし辰」と好評いただいております。



旬の味覚 アジ、中トロ、ネギトロ

前段のモットー三ヶ条もそうですが、「おいしい商品ありき」で、そこから全てが始まります。

・すし辰三次店のお薦めや自慢はありますか。

新鮮な魚を使った寿司の提供でこの時期はアジ、イワシが旬でお薦めです。

特別な配慮はしていませんが、はじめは同じ作業で慣れていただくことと、できるからといってあまり詰め込まず一つ一つに自信をつけていただくように出来ればと思っています。



・すし辰三次店では現在何人の方が働いておられますか。

現在三十名程度の従業員が交代で勤務しています。

・障害者の雇用を考えたきっかけはどんなことだったのでしょうか。

また何か配慮されていることはありますか。

会社として障害者雇用の取り組みを行う方針が出て、地元近くアットホームな三次店から進めることとなりました。



私たち
羽ばたいています

・これからのイベント計画などあれば教えてください。

・お店ではないのですが近隣のお祭りやイベントに合わせ店内の雰囲気を出してみたいと考えています。

また、七月は土用の丑の日があり当店では「鹿児島産ウナギ」を使用した「かば焼き」販売の予約受付を行っております。値段に見合うおいしいウナギをどうぞお買い上げください。

・大変忙しい中ありがとうございました。

すし辰三次店に勤務されている岡部さんに話を聞きました

・岡部さんは就職されてもうすぐ一年三ヶ月になります

・入社された経緯についてお話をください。祖母の看病もあって前の仕事を辞め、亡くなったので次の仕事を探すとき、福祉事業所から就業・生活支援センターのことを聞き、登録をして職場実習や面接同行など支援してもらい就職ができました。

・現在の職務と仕事で気をつけていること、大変だったことはありませんか。

現在の仕事の内容は、外回り清掃、窓拭き、トイレ便器への水入れ、店内調味料準備、皿洗いなど



取材の様子

で気を付けていることは、水を使う職場で滑りやすいところもあるので転倒しないようにすることや、お皿など割らないように気を付けています。

・仕事を始めて良かったことや変化がありましたか。

一言でいえば「景色が違って見える気がする。」生活に張りが出てきていると思います。

やり始めたことは、将来に向け少しずつではあるが貯金も始めるようになりました。

・休日等余暇にやっておられることはありますか。障害者支援センターが行っているソーシャルクラブに参加してお料理作りやスポーツ、園芸など楽しんでいきます。

・仕事をやる上でこれらの目標はありますか。今は九時から十六時の間の仕事ですが、もっといろんなことを覚えて長い時間働けるようになりたいと思います。



洗ったお皿を搬入する岡部さん

・伊達店長から岡部さんにひとこと。



すし辰受付のインテリア

本人が意欲的であることは非常に良いことで、今の仕事は確実に行きその積み重ねが大事です。自信がついてきたらもっとほかの仕事も担っていただきたいと思います。すし辰で働いていることが自慢できるように頑張ってほしいと思います。これからもスタッフ全員で支援していきますので頑張ってください。

ありがとうございました。



事業所紹介

今回は庄原市三日市町の工場跡地に障害者多機能型事業所『里山福業』を開所して、就労継続A型事業と就労継続B型事業をスタートされた事務所を訪問し、サービスマネジメントの田村さんにお話を聞きました。



三日市町拠点場所の外観

・まず最初に、事業所紹介をお願いします。



薪づくり作業場所

里山福業は備北の里山を守り地域の活性化を目的として環境・介護・観交を中心とした3Kの仕事をしています。又、地域でお住まいの方の「困った」におこたえするお仕事も取り入れ地域貢献にも結びつけています。「経験がない」「不安がある」「資格がない」といった方も職員が伴走ご支援させていただきますのでご安心ください。

・定員と利用者数、スタッフ数は何名ですか。

現在A型・B型ともに定員は10名、現在の利用者数はA型9名、B型9名、職員数はA型はサービスマネジメントを含め4名、B型は5名で支援しています。



花壇作り作業中

・活動内容や利用時間はどうなっていますか。
次の内容の事業を計画しています。

- 農園保全
- 稲作り・畑作り、草刈り・庭木の剪定、花植え等
- 里山保全
- 山林整備、木材加工・製造、薪作り等
- 施設保全
- 屋内清掃ワックス掛け、

野外整備・管理等

観交・介護

介護支援、調理等

生活保全

リフォーム・模様替え、引っ越し作業・移送配送等

営業事務

印刷・デザイン、備品管理・車両管理、PC入力・事務処理等

開所時間は午前8時30分から17時の間で利用は1日4時間から希望に応じて可能です。



野菜も作ります

・活動をされる中で、工夫されている点はありませんか。

今年6月に立ち上がったばかりで工夫とかは特にはありませんが、現時点では個人の適性に合った事業への振り分けを考えています。また、できる人がいればできる内容の仕事を取り入れていくつもりです。

・今後、どのような事業所を目指していますか。

自分たちの仕事がどのように活かされているかや、プロの仕事はどんなものかを知るための見学、本人の意向を聞いて一般就労へ向けての訓練を含めた活動もできるような考えています。

利用を考えられている方は気軽にお電話ください。TEL0824・

72・1233

・ありがとうございます。

センターの窓

平成28年3月以降のセンター職員の活動状況について報告します。

①平成28年3月2日
場所：東広島市西条町
『就労支援セミナー』

1名参加
「発達障害のある方の就労支援」く大学生支援とエンカレッジの実践くで講演があった。

②平成28年3月12日
場所：庄原市西本町

庄原市ふれあいセンター
『庄原市障害者理解促進事業講演会』 3名参加

「障害者差別解消法ってなんだろっ」と題し講演があった。

③平成28年3月15日
場所：広島市中区

『県内障害者就業・生活

支援センター連絡会議』

1名参加

広島労働局から本年度事業に関する留意事項やナカポツセンターからの質疑応答があった。

④平成28年3月20日
場所：広島市南区

『知的障害のある人の就労を考えるセミナー』

1名参加

二つの基調講演のあと午後パネルディスカッションがあった。



福祉まつりの様子

⑤平成28年5月15日
『庄原健康福祉まつり』

4名参加

庄原福祉まつりに参加し、ラムネやフランクフルトの出店をし地域の方や利用者と歓談した。

⑥平成28年6月8〜10日
場所：千葉市美浜区

『就業支援者スキル向上研修』 1名参加

就労支援に必要な技法などの講習と演習。(8月に2回目実施)

⑦平成28年6月21日
場所：広島市西区

『県内ナカポツ連絡会』 2名参加

午前中「かけはし」のバーションアップ研修があり午後情報提供と事前提出課題でのグループディスカッションがあった。

⑧平成28年6月25日
場所：三次福祉センター

『当事者のつどい』主催
「就職・復職するために必要なこと」をテーマに開催した。参加者13名



つどいの様子

センター活動実績 平成28年6月30日現在

●就職者数 227件 (22年4月から累計)

●企業実習 136件 (22年4月から累計)

就職先：食品製造、製造業、福祉施設、林業病院、日用品販売量販店、農業、建設業 etc

○お知らせ

センターでは在職者交流会を計画しています。

・28年7月23日(土)

庄原市民会館

・28年9月24日(土)

◎市福祉保健センター

・28年11月26日(土)

東城町東寿園

・29年2月25日(土)

◎市福祉保健センター

編集後記

今年の梅雨はのっけから沢山の雨が降り被災された方には心からお悔やみ申し上げます。例年の梅雨明けは七月中旬を過ぎてからと聞いており今少し我慢です。

ビックリといえば今年のカープもどうなっているのでしょうか。カープのほうはうれしい誤算ですが、秋にはおいしいお酒を飲みましょう。

(中河)

